

【人材の養成に関する目的】

■文学部

文化現象の総合的理解及びその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育及び専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力及び多面的な分析能力の伸長を図ること、並びに言葉を通して形づくられた人間、歴史及び社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力及び自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することを目的とする。

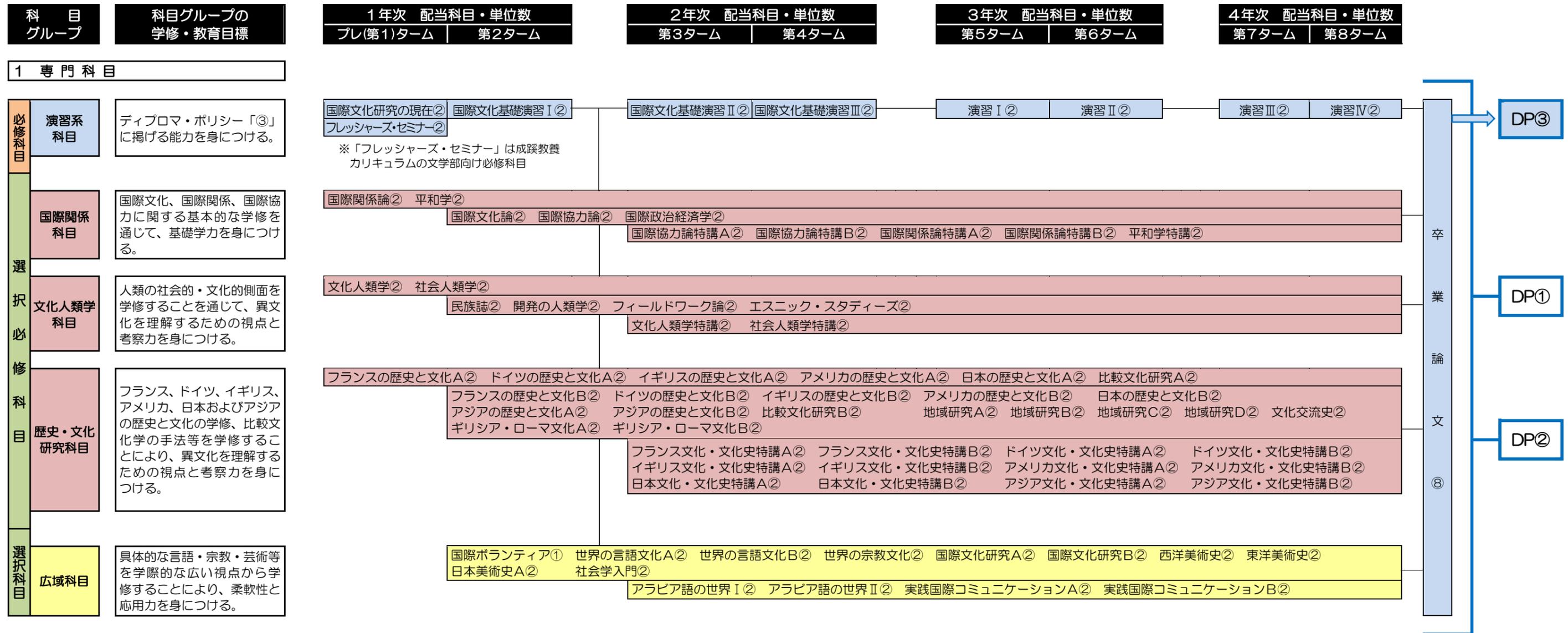
■国際文化学科

- (1) 「歴史・地域文化研究」、「文化人類学」および「国際関係研究」を内容とする3つの基軸的な科目群をバランスよく修得させるとともに、幅広い知見に基づく情報分析能力と国際社会で通用する実践的なコミュニケーション能力を身につけさせることを通じて、グローバル化の進展とともに画一化と多様化が進む現代世界の複雑な動きを的確に理解し、社会と文化が直面する諸課題に柔軟に対処しうる人材を養成する。
- (2) (1) に規定する教育により、異文化理解の実践を通じて文化間の媒介者となりうる自律的な地球市民を養成する。

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

- ①文化現象の総合的理解およびその継承 —— 「知識・理解」の観点から
「歴史・地域文化研究」、「文化人類学」および「国際関係研究」を内容とする3つの基軸的な科目群をバランスよく修得することを通じて、幅広い知見に基づく情報分析能力および国際社会で通用する実践的なコミュニケーション能力を身につけている。
- ②問題発見能力及び多面的な分析能力 —— 「思考・判断」「意欲・態度」の観点から
異文化理解の実践を通じて、世界の多様性を知り、同時に自己の立ち位置を知り、視野の広い豊かな国際感覚を身につけている。
- ③他者を理解する能力及び他者とコミュニケーションする能力 —— 「技術・能力」の観点から
各年次に配当された必修の演習および卒業論文の作成を通じて、批判的・論理的思考力、課題発見・探究力・問題解決力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを身につけている。

※ 教養科目については、「成蹊教養カリキュラム：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。



科目グループ	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
		プレ(第1)ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
2 自由設計科目（選択科目）									
文学部 共通科目	トピック・セミナー	トピック・セミナーA② トピック・セミナーB② トピック・セミナーC② トピック・セミナーD② トピック・セミナーE② トピック・セミナーF②							
	ことばの世界	Active English Grammar① Practical English Grammar① ラテン語Ⅰ② ラテン語Ⅱ② 古典ギリシア語Ⅰ② 古典ギリシア語Ⅱ②							
	実践・発信する文化演習	発信する武蔵野地域文化② 実践する日本文化② Musashino Culture Studies② Japanese Culture Studies②							
	文学部総合講義	文学部総合講義A② 文学部総合講義B② 文学部総合講義C② 文学部総合講義D②							
単位認定科目	資格課程認定単位	学校と社会② 教育史② 生涯教育研究②							
	留学関係認定単位	海外研修C② 海外研修D② 海外研修E② 海外研修F② 海外研修G② 海外研修H②							
	全学共通科目超過単位								
学際科目	成蹊国際コース	〔成蹊国際コース〕で修得した単位							
	他学科・他学部・他大学	〔他学科の専門科目、他学部の専門科目および単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位〕							